

学校通信

〈保健室からのお知らせ〉 養護教諭 秋山 美和

日増しに寒さが厳しくなってきました。この時期、気温の変化や空気の乾燥等の影響もあり、体調を崩す生徒も増えてきています。特にこれからはインフルエンザや感染性胃腸炎には注意が必要です。本校では、インフルエンザに罹患した生徒はまだ少数ですが、今年は全国的にインフルエンザの流行開始が早く、福島県でも10月上旬には流行シーズンに入っております。学校では、インフルエンザに罹患した場合は「発症後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」、感染性胃腸炎は「症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで」は出席停止となることが学校保健安全法により定められています。今後、冬休みに入りますが、睡眠や食事など生活のリズムが崩れることで、体の抵抗力が下がり、感染症にも罹患しやすくなります。また、人混みに行くことでウイルスに感染する可能性が高くなります。日頃から、正しい生活習慣の確立や手洗いうがいの励行、人混みに行く際にはマスクを着用するなどして、健康管理には十分ご注意ください。充実した毎日が送れるよう、ご家庭におかれましてはお子様の心身の健康へのご配慮をお願い致します。

〈福島大学共生システム理工学類合格〉

河原 昂太 (3-4 醸芳中出身)

私は10月22日に行われた福島大学共生システム理工学類のAO入試で合格しました。入試の内容はポスターを使ったプレゼンテーションと筆記試験でした。

受験をするにあたり、7月上旬から本格的な準備を始めました。最初にポスターのテーマを決定する際には何度も試行錯誤しました。そして、決定したテーマについて夏休みの期間を十分に活用して研究を行いました。研究はほぼ毎日行い、たくさんのデータを収集しました。また、ポスターにまとめる作業はパソコンで行い、夜遅くまで構図を練り直したりしていたこともありました。出願後に始めたポスター発表の練習では友達や多くの先生方に協力いただきました。発表後には質疑応答があり、毎日関連内容を調べ、知識を深めました。筆記試験は国・数・英を主としたさまざまな内容が複合された総合問題でした。そのため、日々の授業の復習や演習問題を解くなどして対策をしました。入試前の1ヵ月は忙しかったため、時間を無駄にしないように心掛け、空き時間を有効活用していました。その結果、入試には万全の状態での臨むことができ、合格することができました。

〈福島成蹊高校ホームページ〉

本校ホームページでクラブの活躍が詳しく写真付きで紹介されています。右のQRコードからもアクセスできます。日々更新。ご覧ください。



〈行事日程〉

12月20日(金)	2学期終業式 保護者会
12月23日～27日	普通コース冬季課外授業
12月23日～1月10日	文理選抜コース冬季課外授業
12月23日～1月11日	特進コース冬季課外授業
12月23日～1月11日	一貫コース冬季課外授業
12月24日(火)	後期教研(課外授業休み)
12月26日(木)	2学期追試験
12月26日～29日	一貫コース3年センター合宿
12月27日～30日	特進コース3年センター合宿
12月28日～1月3日	冬季休業
1月6日(月)	福島成蹊高校推薦入試
1月14日(火)	3学期始業式
1月15日(水)	福島成蹊高校一般入試I期
1月18日(土)	センター試験@福島大学
1月19日(日)	センター試験@福島大学
1月20日(月)	センター試験自己採点
1月25日(土)	志望校検討会議
	3回英検一次試験(準会場)
1月26日(日)	3回英検一次試験(本会場)
1月27日(月)	志望校検討会議
1月31日(金)	送別会

〈保護者のための茶道教室〉桃李の会教養研修講座

11月16日(土) 福島成蹊中学・高等学校茶室「自蹊庵」にて。多くの方に参加いただき、午前の部と午後の部の2回実施しました。茶室「自蹊庵」は県内有数とされており、本校元理事長の山田様から約10年前にご寄贈いただいたものです。講師の齋藤宗緑先生は、とても指導熱心で分かりやすく、多くの事を教えていただきました。短い時間ではありましたが、美味しいお茶とお菓子を存分に堪能でき、茶室や庭をゆっくり眺め、素敵なひと時をリラックスして過ごすことができました。



〈生徒会会長挨拶〉 安彦 美優 (2-3 県北中出身)

この度、第108期生徒会会長に信任された安彦美優です。私はこの学校をより発展させるために、個性の尊重を大切にしていきたいと思っています。これはTPOを弁えず好き勝手するのを個性として許すことではなく、人と違う考えや能力に自信をもてない風潮をなくそうということです。私たちは日々一つの学校として仲間意識を持って生活していますが、時にその仲間意識が個人の主張を奪ってはいないでしょうか。誰かの意見に同調し偏った見方しかできない生徒よりも、自ら積極的に意見を出して行動する生徒の方が素敵だと思います。ですから、108期生徒会はそのような生徒を少しでも増やすために、まずは生徒会から意見を出すこと、できるだけ多くの意見を聞き入れる姿勢を忘れずに活動していきます。言うなれば、大それた意識改革です。もちろん私の代だけで終わる気はなく、先輩方から受け継いだ多くの志の中に新しい伝統として追加し、次の代へとバトンを渡すのです。そうして私たちの1年が未来の成蹊への礎となれたら本望です。

また、令和2年2月16日(日)に福島学院大学宮代キャンパスで行われる「第21回ふれあいコンサート」も先輩方から繋がれた歴史の一つです。現在開催に向けて尽力しています。是非お越しください。

〈生徒会副会長挨拶〉 橋内 愛未 (2-4 大鳥中出身)

みなさん、こんにちは。第108期生徒会副会長の橋内愛未です。私は第107期生徒会でも書記として生徒会活動に励んでいました。しかし、その頃は先輩方についていくことしか出来ず、与えられた仕事をこなすことしか考えていませんでした。現在は、自分自身が生徒会としてどう在りたいのか?ということ深く考えるようになりました。私にしか出来ないことは何か、今まで以上に進歩した行事を企画するにはどうしたら良いかなど、頭を悩ませています。ですが、私は「思わずヘドバンしてしまうくらい楽しい行事」を作るということを、副会長立候補の際に宣言したので、先輩方が引き継いでくださった伝統を残しつつ、ヘドバンレベルの行事を作り上げるように、新しいことにも恐れずにチャレンジする精神で、日々の生徒会活動に邁進していきます。よろしく願いいたします。



生徒会役員
第108期